

●NPO 法人市民科学研究室 会員種別と参加費等の一覧 (2021/06/15 改訂)

種別	総会 議決権 (※1)	研究会 参加権 (※2)	ML 参加権 (※3)	講座・イベント 参加費 (※4)	動画 視聴費 (※5)	市民研出版物 寄贈 (※6)	年会費(※7) ・前期会員 ・後期会員
レイチェル会員(正会員) [団体会員を含む](※8)	あり	あり	あり	オンライン参加は無料 会場参加は有料	不要(いつでも好きな時に視聴できる)	あり	10,000 円
フェアブル会員(賛助会員Ⅰ)	なし	あり	あり	オンライン参加は無料 会場参加は有料	不要(いつでも好きな時に視聴できる)	なし	5,000 円
ダーウィン会員(賛助会員Ⅱ)	なし	あり	あり	オンライン参加は無料 会場参加は有料	下記の A または B を選択	なし	3,000 円
A:動画パスポート購入者	—	なし	なし	オンライン参加・ 会場参加ともに有料	500 円/月で、その 月内は見放題	なし	—
B:動画パスポート非購入者	—	なし	なし	オンライン参加・ 会場参加ともに有料	1 本の動画ごとに所 定の料金を支払う	なし	—

※1：正会員は、毎年5月か6月に行われる総会において、事前に議案書を受け取り、当日の各議案の審議に加わり、議決において一票を投じることができる。

※2：会員は希望すればどの研究会にもいつでも出席できるが、研究会は調査などをすすめるためのものなので、その活動に参加する(メンバーになる)ことを前提にしている。メンバーになれば、各々の研究会ごとに設けられた「研究会 ML (メーリングリスト)」に登録される。

※3：会員になれば、どの人もいったん「市民研 ML」に登録される。もし、メールを使いたくない、あるいは、市民研からのお知らせを受け取るだけでよい、と思う人は事務局にその旨を伝えてもらい、市民研 ML の登録を解除する。以後、【市民研】という標題のついたお知らせメールだけが届くようになる。

※4：参加費は1回 500 円もしくは 1000 円を基本としている(オンライン参加も会場参加も同額)。食費や材料費などがかかるイベントでは、それらを参加費とは別に参加者全員から徴収することになる。また会場は、市民科学研究室事務所(最大 15 名)もしくは渋谷駅近くにある「光塾」(最大 40 名)のどちらになることが多い。

※5：動画は、市民研ウェブサイトの「動画サイト」から観たい動画を選んで観るか、専用サイトに前もって受け取った ID と PW で入って観るか、のどちらかになる。前者では、個々の動画ごとにアクセスサイト URL が発行されているので、それを「カート」から購入する。後者は 500 円/月で自動更新される「動画パスポート」を購入した人に対して ID と PW が発行される。動画パスポートを購入すれば、その有効期間中はすべての動画について見放題で観ることができる。

※6：市民研が発刊あるいは市民研の名を冠して出版社などから発刊された書籍などは、発刊のたびに正会員へ寄贈することとなる。

※7：<前期会員>は「n 年 1 月から n 年 12 月まで」、<後期会員>は「n 年 7 月から n+1 年の 6 月まで」が会費期間であり、それぞれ 12 月末日、6 月末日が会費期限となる。年会費は会費期限内に次期の分を納めて更新しないと、市民研 ML の登録が期限日にいったん解除される。期限から半年を経過して入金がない場合は、会員登録自体を解除することになる。

※8：団体として会員に登録することも受け付けている。その場合は、正会員として登録してもらうこととなる。いただいた会費の領収書はその団体名宛で発行する。市民研 ML にはその団体が指定した何らかのアドレス(例えば団体の代表のアドレス)を登録することになる。講座やイベントの参加、動画の視聴へのアクセスも、そのアドレスで行なってもらうことになる。